

用語の説明

本文中の太文字の説明です。

【QUS法】…「定量的超音波測定法」の通称で、超音波をかかとや脛の骨に当て、超音波が骨を通過する際の速度や減衰の度合いから骨密度を測定する検査方法。

【ALT】…Assistant Language Teacherの略で、主に小・中・高等学校の英語の授業で日本人教師のサポートをする外国語

指導助手のこと。

【インフレ】…「インフレーション」の略で、モノやサービスの価格(物価)が上がり続け、世の中全体のお金の価値が下がり続ける現象。

【みどりクラブ】…おおむね60歳以上の方が、「友達がほしい!」「色々なことにチャレンジしたい!」「生涯健康!」などの思いで集まっているグループ。市内の各地域に12のクラブがある。各クラブでは、グラウンドゴルフなどの軽スポーツや、カ

ラオケ、手芸などの趣味活動、友愛活動に取り組んでいる。

【モラルハラスメント】…ハラスメントの1つで、言葉や態度、無視、生活費を渡さないなどにより相手の尊厳や人格を傷つけ、精神的な苦痛を与える嫌がらせのこと。直接的な身体的暴力を伴わず、職場や夫婦間など閉鎖的な人間関係で起こりやすいため、周囲が気づきにくいのが特徴。一般的に「モラハラ」と略して呼ばれている。

市内路線バスの維持・拡充について



岡田 議員

問 稲城駅から若葉台駅および聖蹟桜ヶ丘駅路線のバスの増便を求める声が引き続き寄せられている。バス事業者に対し、増便を求めるべきと考えるが、認識は。

問 路線バスを地域公共交通として維持・拡充するために、バス事業者の独立採算という考え方を転換し、国、都が財政支援を強化していくべきと考えるが、認識は。

答 バス事業者からは、深刻なバス運転手不足は解消していないことから、現時点では便数を元に戻すことは困難とのことだが、市では、今後も引き続きバス事業者に対し要望していく。

答 現在、国では公共交通機関は独立採算を原則として運行されており、これまでのところ、鉄道やバスについて国や都道府県における経営に対する支援は具体的にはなかった。一方で、これとは別に、路線バスの維持・拡充としては、国では人材確保支援事業を、都ではバス運転士定着支援事業を始めている。市としては、公共交通は国や都道府県が独立採算という考え方を改めて、経営について支援をすべきだと考えている。

トイレカーの災害対応車両登録制度への登録について



湯谷 議員

問 令和8年度に市が購入するトイレカーの仕様については。

答 軽自動車ベースに、悪路での走行を考慮した四輪駆動、トイレ室内には施設可能な個室

として、洋式便座2基、給水・汚水タンクを搭載している。トイレ部分用のサブバッテリーは、外部AC100ボルト電源や天井部分のソーラーバッテリーで充電が可能な仕様としている。

問 トイレカー納入までのスケジュールは。

答 4月に競争入札を終え、機装メーカーにベース車両が入荷後、8月から車両加工、トイレ架装部分作成およびトイレ室内設備の取付けを行い、中間検査を実施し、9月以降に架装部分の試運転、仕上げおよび各装置

の確認など、仕様に基づく車両の製造を進め、完成検査を行い、令和8年度内の納入を予定している。

問 トイレカーの災害対応車両登録制度への登録について、市の考えは。

答 内閣府が令和7年6月より開始し、自治体や民間で保有する災害対応車両などを平時から登録、データベース化することで、発災後、被災自治体のニーズに応じて迅速に災害対応車両を提供できる制度で、既に多くの自治体などが登録していると認識している。登録については、本市が保有するトイレカーを被災地で迅速に提供できるよう、トイレカー整備後に検討していく。

多様な保育ニーズへの対応と待機児童対策について



いそむら 議員

問 待機児童対策や一時預かり事業、地域子育て支援、また医療的ケア児や配慮が必要な子供への対応などに加え、こども誰でも通園制度の実施など、近年保育園に求められる役割は大きく拡大している。こうした中、保育現場における負担感について、市の認識は。

答 保育所で実施している一時預かりにおいて、予約が取りづらいなどの状況にないため、市としては、保育園での一時預かりを活用してもらうことで対応することを考えており、ベビシッター利用支援事業の導入は現時点では考えていない。

問 稲城私立保育園園長会への出席や各園訪問の機会を通じて状況を確認している。現時点では、問題がある状況ではないと認識している。

問 同事業の補助金を活用し、待機児童が発生している現状を踏まえ、保護者の就労継続を支えるための緊急的・暫定的な待機児童対策として、本市として導入を検討すべきと考えるが、見解は。

問 都のベビシッター利用支援事業の補助金を活用し、保護者の急な用事やリフレッシュ、一時預かりの予約の取りづらさへの対応などの観点から、導入を検討すべきと考えるが見解は。

答 まずは既存施設を活用した待機児童対策を進めていくことを優先にし、その上で待機児童が発生する見込みがある場合には、今後検討していく。



トイレカーの例

正副議長公務日誌

友好都市 相馬市訪問
(5月23日～24日)

今年は中田副議長が友好都市の福島県相馬市を訪れ、慰霊碑に市民ツアーの参加者と共に献花し、東日本大震災で亡くなられた方を追悼しました。また、翌日には、伝統行事の「相馬野馬追」を観覧しました。



第34回稲城市消防団消防操法審査会
(6月14日)

市内全8分団が一堂に会し、日頃の訓練で培った技術を競う消防操法審査会が、今年は市制施行55周年を記念し、開催されました。令和8年度は、第三分団が議長賞を受賞しました。



フォスターシティ市ホームステイ事業壮行会
(7月26日)

昨年に引き続き、令和8年度も稲城市姉妹友好都市交流協会で、姉妹都市である米国フォスターシティ市へホームステイ派遣する市内の学生を送り出す壮行会に出席し、激励の挨拶をしました。今回は、中学生2名、高校生6名の計8名を派遣します。



※茶色く太字になっている用語については7面で詳しく説明しています。